



留萌市応援寄附の 運用状況

市では、「ふるさと・るもいの応援団」からの寄附を活用しながら、さまざまな事業に取り組んでいます。

問 市・ふるさと納税課 Tel 56-5001

「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附

▼令和6年度は、寄附件数が延べ13万2,229件(個人13万2,211件、団体18件)、総額19億4,863万4,505円となりました。なお、地域別では、道内5,420件(うち市内11件)、道外12万6,809件でした。

【温かいメッセージが応援者から届きました(一部を抜粋)】

旅行で訪れて人柄、食に惚れ込みました。また、訪れたいです。／何度か留萌市に遊びに行っています。海産物がとても美味しく、数の子、松前漬が特に好きです。米作りも盛んだということで、食の宝庫だと思います。これからも応援しています！／父が留萌市出身のため、幼い頃から年に一度は訪れており、海の家や磯遊びなど家族の楽しい思い出の場所です。これからも、留萌市の発展を心より願っています。ほか

● 留萌市応援基金の状況(令和6年度実績)

寄附事業の区分(略称)	令和5年度末	令和6年度		合 計
	累 計 額	活用金額	積立可能額	
(1) 萌える若者たちのまちづくり	7,120万9,821円	2,672万1,664円	3,997万5,265円	8,446万3,422円
(2) ふるさとと海づくり・里山づくり	1億7,086万1,191円	751万9,390円	5,907万7,426円	2億2,241万9,227円
(3) ニシン文化の継承	4,166万4,422円	60万6,760円	1,642万5,763円	5,748万3,425円
(4) 食のブランド化、食育	5,920万0,519円	0円	1,983万0,363円	7,903万0,882円
(5) 健康で輝きのある元気づくり	1,851万5,404円	117万0,890円	846万9,276円	2,581万3,790円
(6) 安心して暮らせる地域医療づくり	1億0,027万6,154円	8,270万6,597円	3,717万3,774円	5,474万3,331円
(7) こどもの健全な育成	2億0,529万7,114円	6,801万2,397円	1億0,472万9,058円	2億4,201万3,775円
(8) 市長が特に必要と認める重点事業	7億7,716万3,975円	5億4,876万0,791円	5億4,200万3,162円	7億7,040万6,346円
スポーツを通じて子ども達を応援	7,981万9,138円	1,136万7,518円	4,907万4,566円	1億1,752万6,186円
基金運用益	-		25万5,803円	25万5,803円
新型コロナウイルス感染症対策	3,075万4,959円	0円	0円	3,075万4,959円
基金運用益	-		1万3,594円	1万3,594円
前各号に掲げる事業の他	-		17万8,030円	17万8,030円
合 計	15億5,476万2,697円	7億4,686万6,007円	8億7,720万6,080円	16億8,510万2,770円

※令和6年度(2024年度)中の寄附金から、返礼品や返礼品の送付に係る経費を差し引いた金額と基金積立金により得られた運用益を基金への積立可能額としています。

企業版ふるさと納税は、件数9件・400万円の寄附を受け入れ、全額事業へ充当しています。

新型コロナウイルス感染症対策、前各号に掲げる事業の他は応援基金とは別に積み立てます。

市では、「留萌市応援寄附金(ふるさと納税)返礼品」への提供を希望する協力事業者(市内に本社または支社などがある事業者)を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

留萌市ホームページ
QR▼



◎『「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附』の詳細については、市ホームページをご覧ください。

◆令和6年度 活用事業

令和6年度は、留萌市応援基金を取り崩し、67の事業を実施しました。そのうち7つを紹介します。
 なお、その他の事業については、市ホームページで公表していますのでご覧ください。
 市では、より良いまちづくりのため、今後も寄附金を効果的に活用していきます。

◎卓球まちづくり推進事業 646万3,209円



市民への卓球競技の普及に向け、開放事業（卓球 FRIDAY）を実施したほか、大学との連携による卓球教室を開催、卓球に触れあう機会を創出できました。また、卓球競技力向上を目指す子どもたちに対し、外部指導者の招へいや充実した練習環境を提供することで、全国大会において優秀な成績をおさめることができ、地域の活性化につながりました。

◎高齢者市内バス無償化実証実験事業 1,551万5,935円



留萌市内に住所を有する満70歳以上の高齢者が市内バス路線を利用する際の運賃を無償化することで、高齢者の外出に係る金銭的負担の軽減、社会活動の参画機会の創出を図るほか、バス利用の促進により持続可能な公共交通体系の維持、確保につながりました。

◎アウトドア観光拠点形成推進事業 477万1,521円



きた・北海道DMO 副代表理事兼事業推進本部長の杉川氏や、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院の准教授である石黒氏をアドバイザーとして、計2回の勉強会、また上士幌町DMOの視察などを実施し、DMO組織化に対するコアメンバーの機運醸成が図られました。

◎留萌高等学校教育振興支援事業 1,093万1,950円



令和6年度は国公立大学合格者16名のほか難関私大の合格者を多数輩出するなど進路第一希望実現率80%以上の結果を出し、新しい時代にふさわしい教育の実現と市内唯一の高校としての魅力づくりに寄与しました。

◎地元企業人材確保応援事業 119万5,900円

地元企業の人材確保及び定着を促進するため、企業の情報紹介サイト



「はたらく! 留萌びと」を開設し、動画やインタビューを交えたページを掲載することで、地元企業の魅力を市内・市外に発信したほか、企業と連携した奨学金返還支援、札幌大学などで合同企業説明会を開催しました。

◎寺子屋・るもいっこ事業 233万2,423円



留萌市内での様々な体験事業を通して、子どもたちが地域とのかかわりを持ちながら、地元留萌を知ることにより、ふるさとを愛し、将来の夢を育む環境の醸成につながりました。



◎地域活性化起業人件費等負担金 1,144万4,000円

当市が抱える人口減少といった課題に対し、「卓球まちづくり事業」を通じて、卓球競技力の向上や他地域からの競技者のスカウトを行うことで、留萌市の魅力向上や学生移住者の増加に寄与し、地域の活性化が図られました。